

産業廃棄物中間処理施設「焼却施設」立地計画概要説明会（補足説明会） 【住民説明会でいただいたご質問への回答】

第一回住民説明会（立地計画の概要説明会）補足説明会でいただきましたご質問への回答となります。住民説明会時に配布いたしました資料は、弊社ホームページ内の「お知らせ」にて開示しております。

引き続き産業廃棄物中間処理施設「焼却施設」建設に対してのご質問などございましたら、是非お聞かせいただきたく存じます。ホームページ内の「お問い合わせ」または弊社宛 FAX にて、お手数ではありますがご連絡下さいますようお願い申し上げます。

※今後予定している住民説明会（時期未定）の開催日程及びご質問に対する回答等に関しては、弊社ホームページにおいても開示を予定しております。

令和7年10月 2日

株式会社 TEC 武隈

第一回住民説明会（補足説明会）ご質問に対する回答

対象地域住民説明会日：令和7年8月5日 ご参加者様 12名

番号	ご 質 問	回 答
1	第1回住民説明会開催よりだいぶ期間が空いているが理由は。	令和5年に第1回住民説明会（立地計画概要）を開催いたしましたが、令和6年能登半島地震の発生により最も被害が大きい輪島市及び珠洲市の復旧の為、筆頭株主である（株）タケエイを中心としてTREグループが災害廃棄物の仮置場を担当し、現在も活動を継続しております。 その為、弊社からも主要メンバーが石川県に援護に入り、だいぶ時間が空いてしまいましたので、この度、補足説明会として開催させていただきました。
2	建設予定地は東日本大震災で津波被害を受けた地域であり、近郊に公園が作られている。また近隣に2施設の焼却施設、小学校、中学校等の通学路もあるが、なぜ建設予定地としたのか理由を説明願いたい。	建設予定地は東日本大震災前より工業団地指定されていた土地を選定し、筆頭株主である（株）タケエイが購入いたしました。 現在、建設予定地の二の倉工業団地には操業されている企業者様がありますが、24時間操業ではなく夜間は暗闇状態になっております。 24時間稼働である弊社の照明等により、僅かではありますが防犯面の向上に貢献出来ると考えております。 搬入経路に関しては、登校時間帯の学校前面道路を通行禁止とし、仙台空港から嵩上げ道路としての経路を搬入業者に指導してまいります。（通行の制限） 生活環境においては、環境省が定める生活環境影響調査指針等に基づき生活環境影響調査の実施及び結果の公表、各法令等で定める環境基準を遵守いたします。
3	現在の施設（焼却炉）問題が無いのは承知している。 今後、地域住民との信頼関係を重視して欲しい。また廃棄物の保管施設は完全屋内で作って欲しい。	今後も数回の住民説明会がありますが、地域住民の皆様へ可能な限り情報を公開し、信頼関係の構築に努めます。 廃棄物保管に関しては、建屋内に保管ピットを設けて建屋内保管といたします。

4	<p>昨今、リチウム電池由来の火災報道が見受けられる。 災害(火災)はゼロでは無いので十分に配慮して運営を行って頂きたい。</p>	<p>リチウム電池由来の火災は一般廃棄物焼却施設で多いと認識しております。一般廃棄物の中には分別が難しい物もありますが、弊社への搬入物は工場など発生行程を把握しておりますので、混入する可能性は低いと考えております。また、24時間稼働の為、夜間でも3名程度の人間が常駐しており、万が一の場合にも対応可能です。なお、初期消火対策として十分な消火設備等を設置いたします。</p>
5	<p>現在も地震が時々発生しているが地震対策は取っているのでしょうか。</p>	<p>建設・施工は大手ゼネコンを予定しており、建築物及び基礎等含め、強靭化構造といたします。 地上高20mの位置に運転室や会議室を設けており、垂直避難も可能です。 当社社員に限らず有事の際は、近郊の方も受け入れます。 また、非常用発電機を設置し、緊急時に対応いたします。</p>
6	<p>搬入された廃棄物の保管方法は。 (流出対策等)</p>	<p>廃棄物の搬入は日曜日、祝日を除き日中のみといたします。 廃棄物は建屋内に設ける、地面より5m掘削した地下ピットへ投入保管いたします。 保管数量は法律で決められており、処理能力の14日分までとなります。焼却施設が24時間稼働の為、予定では1週間程度の保管を想定しております。 津波等による流出ですが、保管が地下ピットの為流出は無いと考えております。 万が一流出したとしても、弊社では危険性の低いものを対象としている為、環境への影響は低いと想定されます。</p>
7	<p>搬出入に関しての1日あたりの台数、学校近郊の通行制限、津波に関してのリスク管理について。</p>	<p>施設の処理能力は120t/日を計画しております。 日曜日、祝日の搬入はせず、1日当たりの搬入量は150t/日程度と想定されます。 一日あたりの運搬車両台数は大型車・中型車・小型車での運搬の為、40台/日と想定しています。 学校近郊の走行については問②を参照願います。 津波に対してのリスク管理については問⑤を参照願います。</p>
8	<p>廃棄物のにおいはどの程度か。</p>	<p>建設系廃棄物が主体になる為、極端においのする廃棄物はないと考えております。 また、廃棄物保管建屋内はにおいの飛散防止の為に負圧にして空気を燃焼室へ送る構造となっておりますので、外部への流失はありません。 運搬車両からにおいが発生する場合については、運搬会社へ、におい防止の為のトラックシートの使用等を指示いたします。</p>

9	廃棄物はどの地域からの搬入を見越しているのか。	<p>宮城県の焼却炉（民間焼却炉）は県北に集中していることから、当社では県南を中心とした範囲で相当量の集荷が可能と想定しております。</p> <p>更に、当社のグループでは、現在千葉県市原市に日量 330 t の焼却施設を計画しているため、首都圏から常態的に廃棄物を受け入れることは想定しておりません。</p>
---	-------------------------	---